

<実践例>

月	主題研究推進の過程	基礎研修の内容・方法	
5	<p><主題研究・基本計画についての検討></p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 共同研修についての共通理解 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 目的、内容、方法の確認 ◦ 学力テストの実施、結果の分析と考察 <p><検証計画の具体案作成></p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 組織運営について ◦ 授業研究の方法について 	<p>◎指導を中心にする。</p> <p>○話し合い、協議が中心。</p>	
6	<p>検証授業① 算数「わり算2」第3学年 検証の視点</p> <p>具体物を効果的に活用し、ひとりひとりの能力に応じた学習へのとりくました。</p> <p>◦ 学習への動機づけ、課題意識の高めかたについて検討する。</p>	<p>◎ 学力診断の方法 分析、考察による問題の焦点化について。 (資料調査主任指導)</p> <p>○ 実態把握のしかたについて (資料調査部担当)</p>	
7 ・ 8	夏季休業を利用して、全員一検証授業案を作成する。実施は二学期中とする。(基礎研修の実践)	<p>◎ 指導案のかきかた。 プロットのおさえ方とその内容について (授業研究部主任指導)</p> <p>○ 学習指導上における具体的な問題について。 ◦ 日常における児童の学習活動の実態から。 (校長・教頭・研修主任担当)</p> <p>◎ 事後研究協議のすすめ方 ◦ 学習過程の組み立てと研究課題の位置づけ。 (授業研究部指導)</p>	
9 ～ 12	<p>検証授業② 算数「分数の計算」 第5学年</p> <p>検証授業③ 算数「20までの数」 第1学年</p>	この間に、各自立案した検証授業をブロックごとに実施した。また、学習指導上の具体的な問題についても指導、協議の機会を設け実施に努めた。	(授業研究部・調査資料部担当)

(3) 実践の成果

以上のような研究推進の過程を経たわけであるが、そこには、どのような変容（経験の少ない先生の意識）がみられるかをさぐる。

4月の調査にみられた“若い先生の声”から原文のまま

<教職2年目・男>

経験が浅いので、資料づくりに四苦八苦、しかも作った資料があまり役にたたない。どのようにすればよい資料が作れるのか。……知りたいのだが……知りたくて先輩にたずねようと思うのだがどのようにたずねればよいのかわからない。

<教職1年目・女>

授業研究の経験がほとんどないので、ブロック研究などといわれてもどうすればよいかわからない。みんなで研究主題をもって研究する前に、私個人の毎日の問題を解決していきたい。

<教職2年目・女>

自分の努力の足りなさから、みんなの話し合いでついていくのがむずかしい。話の内容がよく理解できないことがある。共同研究の声を聞くと恐ろしい気がする。

などの声がどのように変わったものか、調査によりその結果をとらえてみる。